

はじめに
歴史をモノにするために

序 章 **先史時代** 歴史時代の幕開け

013

「人間は考える葦である」／猿からヒトへ／【宗教とは何か1】「神話的体系」／農耕の開始／【経済とは何か1】「経済の発達とその影響」／四大文明の成立と専制君主の登場

第1章 **古代ヨーロッパ** 多神教と一神教の織りなす世界

027

第1幕 **古代オリエント**

— 沼地と砂漠の文明 —

029

日の昇るところ／肥沃な三日月地帯／人間に罰を与える神々／現世への執着／各地に影響を与えるインド・ヨーロッパ系民族／ナイルの恵み／人間と暮らす神々／来世への願い／ヒラミッドのつくりかた／「王の眠りを妨げる者、死の翼触れるべし」／【戦争と平和のつくる時間感覚】／海の民とアラム人、フェニキア人／【経済とは何か2

003

「商人の役割」／ヘブライ人―出エジプト／ヘブライ人―バビロン捕囚／ユダヤ教の成立―一神教革命／嚙猛なアッシリア帝国／【帝国とは何か】／寛容なヘルシア帝国

第2幕 **古代ギリシア**―明るい海洋の文明―

058

ギリシアの地理的条件／歴史への情熱―シユリマン／よみがえる伝説―ミケーネとトロヤ／歴史への情熱―エヴァンス／よみがえる伝説―クレタ／ポリス社会の成立／神々の交響／自由を守る戦い／自由と秩序／【政治とは何か1】「意思の決定」／学問の芽生え／【宗教とは何か2】「宗教と哲学（科学）の違い」／世界から宇宙へ／美の完成／乱れた齒車／ポリス社会の衰え／憂国の士デモステネスの叫び

第3幕 **ヘレニズム**

— 英雄のつくり出した世界 —

090

英雄の条件／アレクサンドロス登場／歴史の新たなページ／果てしない征服欲／英雄のつくり出し

古代ローマ

―すべての古代史はローマに注ぐ―

た世界／「統合と分裂、普遍と特殊、一様と多様」
／自然科学の成立／英雄ときあと

キリスト教の成立―罪と罰

成立前夜／受胎と伝導／受難と復活／ユダヤ教か
らキリスト教へのストーリー／「多神教と一神教

南アジア(インド) ヒンドゥー教と仏教の世界

のつくる思考」／キリスト教とローマ帝国／「宗
教とは何か3 「一神教には「ルール」がある」

古代インド―即多、多即一

インダス文明とアリア人の侵入／神々の讃歌／
輪廻転生の概念／梵我一如／バラモンへの反逆1
―仏教の成立／バラモンへの反逆2―仏教の広ま
り／ヒンドゥー教の神々／マヌ法典／なぜカース
ト制度は残ったか／インドを流れる「深い河」

東アジア(中国) 儒教・仏教・道教の世界

古代中国―皇帝の支配する天下

地名を持たない国家／中国で求められる秩序／血
縁による秩序／血縁による秩序の限界／孔子の登
場／孔子の思想／孟子と荀子、そして法家の登場
／世界に開花する思想／動乱の背景／商鞅の変法

／「法を為すの弊、一にここに至るか」／「奇貨、おくべし」／中国の統治のかたち／馬と鹿／鴻門の会／若を奈何せん／垓下の戦い／劉邦というリーダー像／法が徳か

第8幕

東アジアのなかの中国

—中華と周辺

中国史のかたち／老荘思想から道教へ／改変される仏教／東アジアのなかの中国／「大陸と島国のつくる空間認識」／支配される中華世界1「モンゴル帝国」／支配される中華世界2「清帝国」

第4章 西アジア(中東地域)イスラームの世界

第9幕

イスラーム世界の成立

—ムハンマドの登場

イスラーム成立前夜／啓示／伝道と逝去／イスラームの本質「タウヒード」／他の一神教への視線／啓典の民／六信五行／イスラームの女性

第10幕

イスラーム世界の拡大

—コーランか剣か、貢納か

スンナ派とシーア派／東西へ膨張するイスラーム世界／拡大の論理／イスラーム化の進行／イスラーム文化1—固有の学問と外来の学問／イスラーム文化2—セマー(旋舞)／「宗教とは何か4「実践的行為」」

第11幕

イスラーム世界の発展

—二つの寛容な帝国

モンゴルの来襲／3大陸にまたがる帝国1—メフメト／3大陸にまたがる帝国2—スレイマン／オスマン帝国の統治／ヒンドゥー教徒を支配する帝国／ムガル帝国の統治／タージ・マハルをめぐる物語

第5章 中世ヨーロッパキリスト教の世界

257

第14幕 中世西欧世界の変化

—新たな時代の兆し—

298

第12幕

中世西欧世界の成立

—孤立するヨーロッパ

259

中世を見るにあたって／恐怖の幕開け／苦境に立つローマ教皇／教皇の努力、いら立ち／カールの戴冠／「ホメットなくしてシャルルマーニュなし」／「包囲された西ヨーロッパ」／神聖ローマ帝国の成立／封建社会——「国家」はなかった／天に日は二つあつてはならない／カノッサの屈辱／東欧の情勢

第13幕

十字軍——牙を剥くヨーロッパ

279

十字軍の導火線／教皇の見ていたもの／十字軍、はじまる／聖地奪回の成功／西欧のオールスター／迷走する十字軍／ベクトルはいくつもあつた／商業ルネサンス／すべてはキリスト教のもとに／教会建築——ロマネスクとゴシック／学問——「哲学は神学の婢」／文化の逆輸入

本書で述べた歴史の見方

おわりに——歴史とは何か——

318

314